

古墳って？

土を高く盛ってつくった墓です。当時のその土地の有力者が死後埋葬されました。古墳は、北は青森から南は鹿児島までの広い範囲にわたってつくられており、その数は数十万基におよびます。大きさは全長 500 mになるものから、数mのものまで存在し、大小さまざまです。

古墳時代はいつごろ？

古墳時代の始まりは色々な説ありますが、卑弥呼が亡くなった3世紀半ば（西暦 250 年ごろ）から大化の薄葬令が出された西暦 646 年までといわれています。約 400 年にわたり日本各地に古墳がつけられました。

実は古墳大国、福井

福井の古墳の多くは山の上につくられているため、あまり発掘調査が行われていません。そのため、詳細が分かっている古墳が少ないです。しかし、県内には 3,000 以上の古墳があるといわれています。



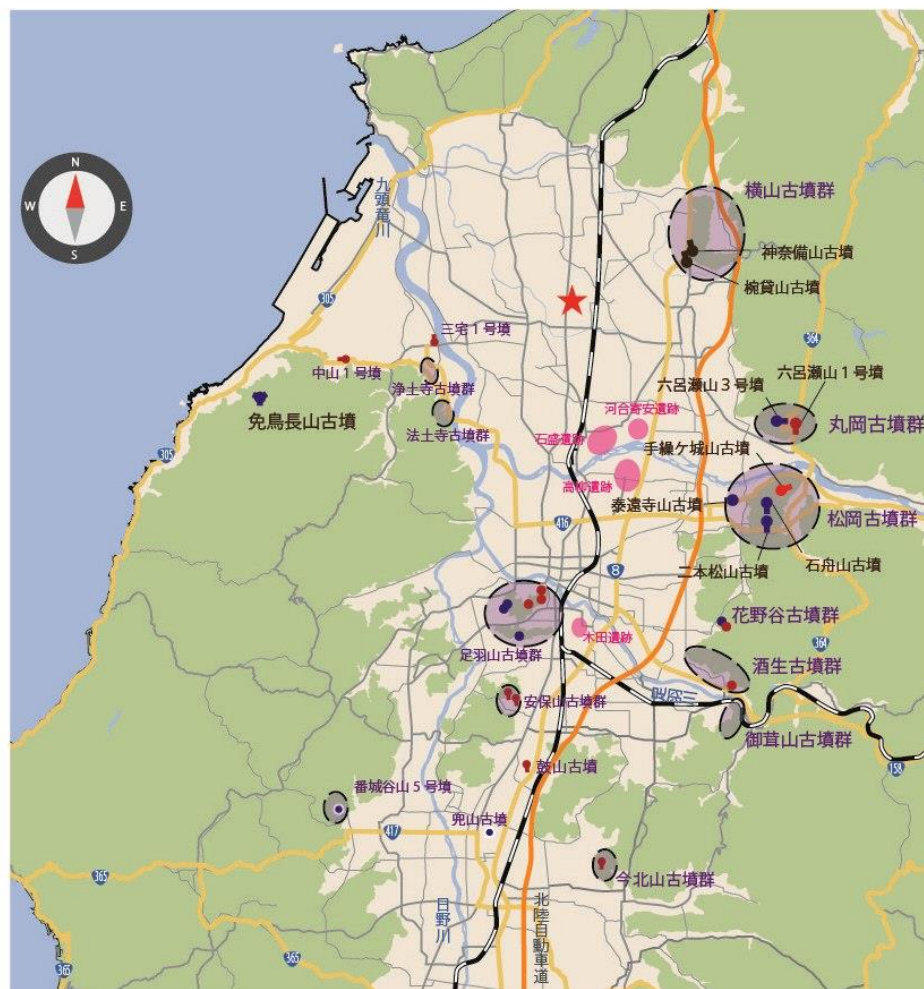
福井県内最大の古墳は？

県内古墳ランキング

- 1位 140m 六呂瀬山1号墳（坂井市）
- 2位 128m 手繰ヶ城山古墳（永平寺町）
- 3位 100m 上之塚古墳（若狭町）
- 4位 91m 免鳥長山古墳（福井市）
- 5位 90m 六呂瀬山3号墳（坂井市）

福井県内最大の古墳は、丸岡古墳群内につくられた六呂瀬山1号墳です。4世紀の終わりごろにつくられた前方後円墳で全長 140m を測ります。

古墳はどんな場所に？



古墳は主に周りの人びとからよく見えるように小高い丘や山の上につくられます。集落の中心は、九頭竜川中流域に位置する高柳・石盛・河合寄安遺跡辺りと推定されています。